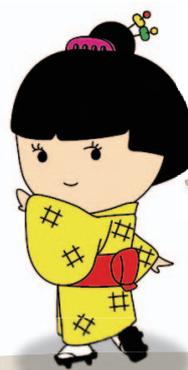


通信がみえる一枚の写真



竹富電話交換局 (2003年)

竹富島のような小さい離島にもユニバーサルサービスとして電話が引かれています。竹富島は石垣島から近いのでケーブルを引くのは比較的難しくないと思いますが、光ファイバがない時代は島と島の間はマイクロ波で伝送していたそうです。例えば、沖縄本島へは鹿児島～中之島～名瀬～那覇とおよそ 560 km の距離をマイクロ波で伝送していたそうで、大変な苦勞があったようです。 【大坂 健】(正員)



竹富島では、赤瓦の建物でなければいけないので、こんな風なおしゃれな屋根になっているんですよ。



写真を募集致します!

マガジン編集委員会では「通信がみえる一枚の写真」をテーマに写真(電子ファイル(jpeg)あるいはプリント)、タイトル、説明文(約300字)を募集致します。詳細は、通信ソサイエティマガジンHP(<http://www.ieice.org/cs/jpn/pub/magazine/index.html>)を御参照下さい。

送り先:

【郵 送】〒105-0011 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館内 電子情報通信学会通信ソサイエティマガジン担当
【メール】b-plus@ieice.org までお送り下さい。